

Quarterly TAKACHIHO

高千穂大学広報誌

[クォーターリ-高千穂]

Vol.80

Winter / 2021

2020年 コロナ禍の1年 を振り返って

逆境をバネに、より飛躍する一年に



学食からの银杏並木



インターンシップ報告会



雪のキャンパス



哲学カフェ



小向ゼミ クリスマスパーティー



父母の会郷土企画

FEATURES

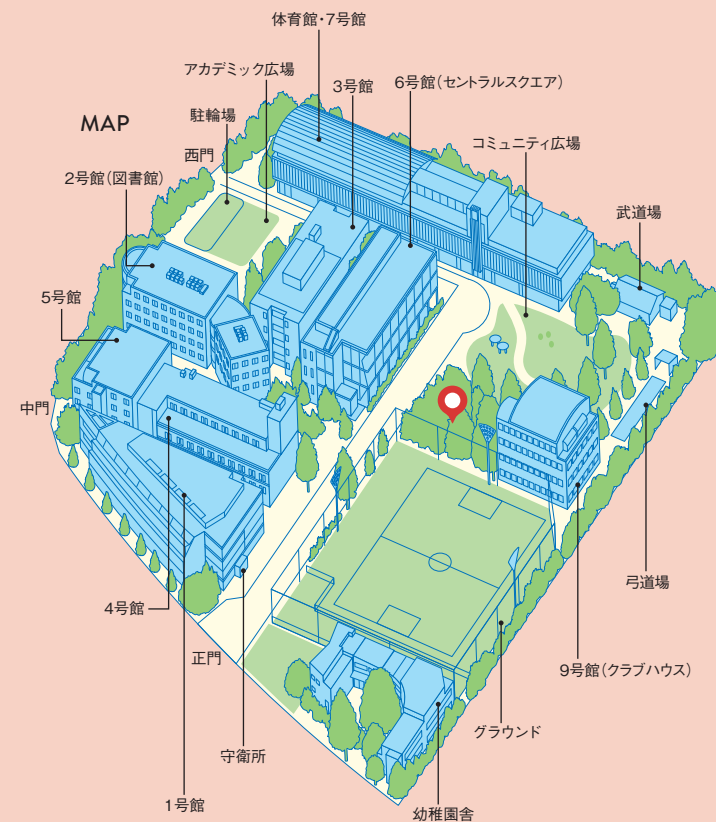
新年のご挨拶

理事長 藤井 耐

高千穂大学
父母の会
黎明
REIMEI

52号

Campus Map & Recommended Spots



ニュートンのリンゴの木

ニュートンの「万有引力の法則」発見につながったリンゴの木の子孫が高千穂大学にあります。9号館前に植樹されているこの木が本学にやってきたのは1988年頃。青いリンゴがなり、日本のリンゴと違い実が甘くないのが特徴です。木の側には植樹を記念したプレートが設置されており、「ニュートンのリンゴの木」の歴史が記されています。



高千穂大学広報誌

Quarterly TAKACHIHO

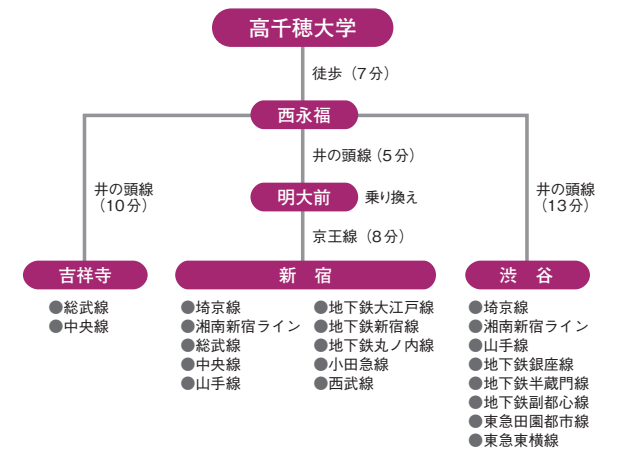
発行責任者: 渡邊 均 発行: 高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1

TEL : 03-3313-0276

MAIL : koho@takachiho.ac.jp

ACCESS



■山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分(新宿駅からの場合は、明大前駅乗り換え)
■中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
■西永福駅から本学まで徒歩7分



迎春

理事長 藤井 耐



新年おめでとうございます。本年も園児・学生をはじめと致します学園関係者全の皆様方にとり、安寧の1年でありませう心より御祈念申し上げます。

本年は高千穂学園創立118周年にあたります。明治元年(1868年)以後、150年の歴史と比較しても我が国私学における伝統校の1つであることがうかがえるのではないのでしょうか。

特に、学生の皆様はこの連続として続く本学の使命・目的を継承する者として一層の誇りと責任感を醸成して頂けるようお願い申し上げます。創設者の説かれる建学の精神・教育理念である「学風の指針」と「学風の目標」は私たちに本学学生としての行動原理を御呈示されると同時に人間として生命有限の人生を歩むうえでの行動原理を指し示されているとも言えるのではないのでしょうか。私達人間は人それぞれ程度の差こそあれ、また意識しているか、否かはともかくとして将来への希望と同時に、日々、精神的・心理的苦悩・不安等を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を生き、「今」を繰り返す、そして、「歳月」を積み重ねていくこととなります。

学生の皆様も現在本学学生として、また青年期を生きる者として、あるいは、御家庭での長男・次男、長女・次女等として、様々な

苦悩・不安を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を歩まれているものと思います。疲れることもあるでしょう。逃避したいと思われることもあるでしょう。しかし、約80年間という生命有限の人生、「半歩」の歩みを継続して下さい。「努力の継続性」による「歳月の積み重ね」が、「人間としての成長」を育み、徐々にではあるかも知れませんが精神的・心理的に強い逞しさを醸成されていくものと思えます。「今」を「真摯に生きること」の大切さを看過しないで下さい。本学園創立者川田鐵彌先生による「学風の指針」と「学風の目標」を常に私達の日常生活における行動原理として捉えて頂きたいと思えます。令和3年・2021年、新年を迎えるにあたり、改めて川田哲学を見つめて参りたいものがございます。

尚、昨年は大学も、学生の皆様方も新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けました。本年もどのような状況を経験することになるのか、正確な予測もつきませんが、皆様と共に、1つ1つ克服して参りたいと思えます。よろしくお祈り致します。

最後に、本学の2021年度春学期からの授業について現時点での見直しについて説明いたします。残念ながら、本稿が皆様のお手元に届いた時点(2021年1月)では、新型コロナウイルス感染症の収束(終息)の兆しが見えない状況であると予想されます。新年度が始まるまでまだ3ヶ月ほどありますので、その間に状況が好転し、予定よりも早く多くの授業を対面式で行えることを心より願いながらも、新年度の授業開始のための準備を粛々と進めていくこととなります。

2020年 コロナ禍の1年を振り返って



学長 寺内 一

Withコロナ・Postコロナ時代の大学教育

対面授業と遠隔授業との共存に向けて

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り申し上げます。

2021年になり、未曾有の年度ともなった2020年度はあと3ヶ月を残すところとなったこととなります。この2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、皆様の生活が変じ、学生として第一義的な存在である授業が春学期はすべてが遠隔形式で行われたことはご存知の通りです。秋学期になっても収束の気配は見えず、一部が月に1回、対面式(ゼミI/専門ゼミ/教職課程の指導法関連科目の一部/起業・事業承継コース科目の一部)になったとはいえ、大半の科目が遠隔形式で実施されました。次頁に、4人の先生方がそれぞれ工夫して取り組まれた遠隔授業を紹介しておりますので、ご覧いただきたく存じます。

今回の新型コロナウイルス感染症により、遠隔授業の実施を余儀なくされましたが、このことにより、当たり前に行っていた対面授業の意義を改めて見直す契機になり、遠隔授業の長所も見出すことにもなりました。皆様お待ち望んでおられた対面授業は、10月から一部の科目で実施されました。対面授業の良さは、教員から直接、講義内容に関する知見を聞き、また、友達との話し合いなど同じ空間を共有することで、視野を広げ、将来、実社会で経験するであろう人間関係の構築などの社会性を学ぶ体験の場を共有することにあります。今回、秋学期の一部開講科目の対象となったゼミナールや教職課程の指導法関連科目などの演習科目の実施を通して、これらの重要性が改めて認識されました。ゼミIの最初の対面授業の日に私自身も立ち合いましたが、それまで遠隔授業を通してのみ関わっていた学生たちが、キャンパスで実際に会えた喜びを共にしている姿は非常に印象深いものであります。

一方、遠隔授業の実施に当たっては、急な導入のため、皆様には大変ご不便をおかけしましたことを心よりお詫びいたします。大学教育においては、対面式授業ですべてを行うことが理想ではありませんが、遠隔授業には優れた点もあることも見えてきました。第一に、遠隔授業では、地理的・空間的・時間的な制約から解放され、実質的にはいつでもどこでも何回でも自由に学習することが可能になります。また、同期型においても、デジタルデータとして受けた授業の記録が必ず残されていきます

ので、それらの動画資料を活用した復習の他、自分が何がわかり、どこまで理解しているのか、さらには、自分が目標とする値までどこまで到達しているのかという客観的指標を把握していくこともできるようになります。一方、教員側の視点から見ると、様々な学習ツールの利用が可能になり、画一的な授業ではなく、学生一人ひとりに合わせた授業をできるようになります。また、遠隔授業を教員自身がかえりみることで、授業内容の改善に取り組みむこと、さらには、それらの改善策についても教員相互でも話し合うことが容易になります。今後、これらの利点を活かしながら、より充実した遠隔授業の実施に努めてまいります。加えて、2020年度の秋学期には、授業以外の多くのイベントが遠隔形式で実施されました。本学の教育の大きな目玉のひとつであるゼミナール発表会も遠隔で行いました。2020年11月2日(月)〜6日(金)の日程で45ゼミ全113パート(含プレゼンテーション7パート)が発表しました。さらに、2020年11月8日(日)には第55回高千穂祭が遠隔形式で行なわれました。スタッフが本当に苦勞を重ねて、これらの2つの大きなイベントが遠隔形式で実施できたことは本当に良かったと思っております。学生生活の本分である授業の他に重要な要素である課外活動も制限をせざるを得なくなりました。それでも、一部の課外活動は実施することができました。そのゼミナール発表会、高千穂祭、課外活動についてもそれぞれ代表者からの報告を、6頁以降に紹介しておりますので、ご覧ください。

対面授業



商学部 准教授
永井 竜之介先生
担当科目
マーケティング論、マーケティング情報論、ゼミI、専門ゼミ



これは映画とよく似ています。映画館で「生で体験する」映画と、ネットフリックスなどで「オンラインで楽しむ」映画。両者は、どちらか片方が正義ではなく、共存できるものです。利用者は作品のタイプや利便性によって使い分けることで、より充実した映画鑑賞ができるようになりました。教育もリアルとオンラインを使い分けることで、より良いものになっていくはず。永井ゼミでは11月中旬から産学連携活動をオンラインで開始しました。オンラインで取材、グループワーク、そして企業へのプレゼンまで行います。学生たちには新たなチャレンジを楽しんでもらいたいと思います。

学生も教員も気づけた2つの大事なこと
コロナ禍によって、私たち（学生と教員）は2つの事に気付くことができました。1つは、オンライン講義の利便性は確かにあること。自宅から受講でき、チャット形式で教員に気軽に質問できる点などはオンラインならではのメリットです。もう1つは、対面式教育の意義や価値を再認識できたこと。これまで当たり前だった対面式が制限されたからこそ、対面式ならではの教育体験のありがたさを自覚できました。そこには、授業やゼミだけでなく、大学という場所ですべてが体験を共にして過ごすことの重要性も含まれます。



経営学部 助教
中山 景央先生
担当科目
生産管理論、ゼミI、専門ゼミ

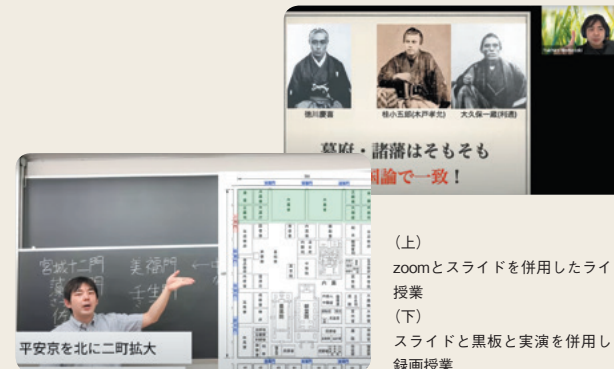


（上）オンライン参加の発表を聞いている様子
（下）オンライン参加者と対面参加者での質疑

私は、やはりゼミ等の議論中心の授業では対面が必要であると強く感じた。専門ゼミも含めた話になるが、問題解決のヒントは自身の班の議論だけではなく、他の班との雑談の中や、他の班が受けている指導の中にあることが多い。そういった、雑多な知の交流が問題解決には必要不可欠であるがオンライン授業ではこの点がうまく実現できず、議論の幅が狭いものとなってしまっている。そして、雑多な知の交流こそが大学生生活の醍醐味であるともいえる。1日も早く状況が収束し、キャンパスで学生同士の雑多な知の交流が再開できる日を願うばかりである。

対面で授業することの大切さ
私が担当するゼミIでは10月末に対面授業を実施したが、これが1年生同士が顔を合わせる初めての機会であった。春からZoomを用いて顔を出した状態での議論や雑談を行ってきたが、やはりリアルで対面するとなると緊張しているようであった。ただ、授業後のアンケートで「Zoomでの顔を出した状態での雑談によってリアルタイムで会ったときに打ち解けやすかったか？」という質問では80%の学生が効果があったと回答しており、全くの初対面よりは若干の打ち解けやすさはあったようだ。私も久しぶりに対面授業を実施したが、やはりゼミ等の議論中心の授業では対面が必要であると強く感じた。専門ゼミも含めた話になるが、問題解決のヒントは自身の班の議論だけではなく、他の班との雑談の中や、他の班が受けている指導の中にあることが多い。そういった、雑多な知の交流が問題解決には必要不可欠であるがオンライン授業ではこの点がうまく実現できず、議論の幅が狭いものとなってしまっている。そして、雑多な知の交流こそが大学生生活の醍醐味であるともいえる。1日も早く状況が収束し、キャンパスで学生同士の雑多な知の交流が再開できる日を願うばかりである。

オンライン授業



商学部 教授
桃崎 有一郎先生
担当科目
日本史、社会科・地理歴史科教育論、社会科・地理歴史科指導法、ゼミI、専門ゼミ



（上）zoomとスライドを併用したライブ授業
（下）スライドと黒板と実演を併用した録画授業

多くの学生はこの状況に理解を示してくれていますが、教員側がバンク寸前であることは、報道されないせいもあって、なかなか理解が進んでいません。コロナ禍が長期化する可能性が見えてきた今、「すぐ先のことも、ほとんどわかりようがない」という前提で大学生活全体を捉え直す、意識変革を避けて通れないと感じています。

ゼロから考え、今なお作り直しが続いています
昨年1年間を通して、授業運営については、想像を絶する量と種類の作業があまり出されてきました。コロナ禍の行方は読めないため、1ヶ月後の授業さえ、どのような形で可能なかわからない。対面授業が不可能だとしたら、ならば複数あるオンライン授業のスタイルから、どれをどの回に用いるかに悩み、それぞれに合うように教材の形を考えて作り直す（かゼロから作る）……。これらは氷山の一角にすぎません。技術上の課題も膨大でした。不慣れたオンライン講義のツールの習熟に時間を要する。録画授業を行う場合は、録画用の教材の選定・試行錯誤に時間を要する。教材も録画授業専用作り直す必要がある。教材や、撮影・編集用のソフトウェアの購入も避けられず、実は大部分を教員が自腹で購入していた（急場なので、大学の予算に計上されていない）、などの諸問題です。



人間科学部 教授
立石 展大先生
担当科目
日本語、日本文学、日本文学史、国語(教職)、国語科指導法、専門ゼミ



（上）「因幡の白兔」の舞台を調査した時の写真を使用
（下）日本神話「因幡の白兔」の授業の一コマ

「ちなみに明治時代に、日本の話を海外に紹介する『ちりめん本』のシリーズにも「因幡の白兔」が取り上げられています。①は表紙。②はヤガミヒメに求婚に行く兄弟たち。一番後ろの袋持ちがオホクムシ。③は皮を割かれた白兔をからかう兄弟たち

その際に、気を付けたのは資料の読みやすさです。説明箇所は敬体（ですます体）で書き、資料の引用は常体（である体）で書くことを基本としました。また、私の授業は、人々の生活文化の中で紡がれた文学についての解説が中心です。ですから、対面授業の時は生活文化の解説に視覚資料も多用してきました。ところがオンラインでは、人の顔が写っている写真は使えず、DVDも流せません。制限のある中で視覚資料の工夫が大変でした。授業資料の作成には、1コマあたり8時間ほどかかるなど苦労しましたが、学生から「面白くて分かりやすかった」との声が届くとやはりうれしかったです。また、例年よりも欠席超過をする学生が少なかった印象です。学生も慣れない環境で頑張っていたと思います。

日本文学のオンライン授業
私が受け持っている日本文学は、履修学生も400名以上で多く、その中にはスマートフォンでオンライン授業を受ける学生もいました。「通信量の上限がある」「プリントアウトができない」など、受講環境に制限がある学生に合わせると、PDF資料を学生に配信する方式になりました。それを学生が読んでから、私が用意した小テストに答えて返信する方式で講義は進みました。その際に、気を付けたのは資料の読みやすさです。説明箇所は敬体（ですます体）で書き、資料の引用は常体（である体）で書くことを基本としました。また、私の授業は、人々の生活文化の中で紡がれた文学についての解説が中心です。ですから、対面授業の時は生活文化の解説に視覚資料も多用してきました。ところがオンラインでは、人の顔が写っている写真は使えず、DVDも流せません。制限のある中で視覚資料の工夫が大変でした。授業資料の作成には、1コマあたり8時間ほどかかるなど苦労しましたが、学生から「面白くて分かりやすかった」との声が届くとやはりうれしかったです。また、例年よりも欠席超過をする学生が少なかった印象です。学生も慣れない環境で頑張っていたと思います。

教務委員長 ゼミナール発表会報告



庄司 真人 教授
教務委員長



最大の学術イベントであるゼミナール発表会が11月2日(月)から6日(金)まで行われました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面の実施を諦め、オンライン上での学内公開ということになりました。オンラインといえど学びの本質は変わらず、113の発表班による報告は学生の視点を活かした研究成果を反映したものであり、例年以上の盛り上がりで、新たな発見もあったところです。最後に今回のオンラインでの発表へのご協力に心より感謝申し上げます。

コロナ禍のゼミナール発表会開催報告

学生委員長 高千穂祭報告



映像のはなやかさとは対照的な撮影現場

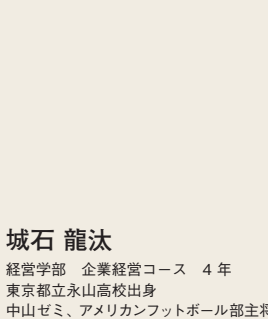
染谷 昌義 教授
学生委員長



伴走してたから、キミたちのことはよく知ってる。オンライン開催が決まったのは7月最初の週。学友会の本部委員長らでつくる5役の会議の席で行事が次々に中止決定されるなか、高千穂祭だけはエイヤット前進。特別許可をもらって夏休みに校内撮影。その後の五里霧中カメさん歩きが10月からサブマリン40ノットに加速(オイ!)。委員も教員も職員も配信実験に参加し、何もかもが実験の連続でヒヤヒヤして当日を迎えた。おじさんはキミらのタフさに心底憧れとおつかれさん。

キミたちに 綺羅星を!!!!!!

クラブ活動報告(アメリカンフットボール部)



城石 龍汰
経営学部 企業経営コース 4年
東京都立永山高校出身
中山ゼミ、アメリカンフットボール部主将

今季、私たちは新型コロナウイルス感染症の影響により、3月〜9月は全体練習が全くできませんでした。そのような中でもオンラインで顔を合わせながら、トレーニングや腕立て伏せ10,000回チャレンジなど、チームメイト同士がモチベーションをアップできることを考えながら、過ごしてきました。最終戦も勝利し、全勝してウイルスに屈することのない強いチームであることを証明できるよう頑張ります。応援よろしく申し上げます。(12月14日時点)

ウイルスに屈することのない強いチームに

クラブ活動報告(硬式野球部)



土方 勇人
商学部 マーケティングコース 3年
東京都私立創価高校出身
上原ゼミ、硬式野球部主将

野球ができることは当たり前ではない。野球ができることが当たり前ではないということに改めて感じる機会になりました。新チームでは、野球ができることに感謝し、私生活からすべてを野球に繋げて行きながら、応援してくれる方々に1部昇格という形で、恩返しをできるように日々精進していきます。

野球ができることは 当たり前ではない

第55回 オンライン・高千穂祭



藤代 匠

経営学部 企業経営コース 3年
埼玉県立浦和商業高校出身
小林ゼミ、学友会本部
高千穂祭実行委員会



来年度も笑顔になれる高千穂祭を
今年度は例年とは異なり、初のオンラインの高千穂祭を実施しました。新しいものを作り上げていくなかで、規制などがあり、とても大変でしたが、先生方、実行委員会、商店街の方々の協力の元、無事に成功することができました。今回は新入生や在学生在をターゲットにした、授業の受け方や空きコマの過ごし方などを紹介した動画を制作しました。大学生活を楽しみきつかけになって頂けたら幸いです。来年度もみんなが笑顔になれるような高千穂祭を作っていただきたいと思います!

2020年度 オンライン・ゼミナール発表会

民間工作機械メーカーの成長

- 池貝鉄工所(明治22年創業)
- 池貝式標準旋盤(1905)
- 東京瓦斯電気工業(明治43年創業)
- 「はめ合い方式」

池貝の国産旋盤1号機

インバウンド動向(月次)



KHATUN FARHEEN
商学部 マーケティングコース 3年
東京都私立郁文館高校出身
桃崎ゼミ、学友会本部
ゼミナール連合本部

皆様オンラインゼミナール発表会お疲れ様でした
新型コロナウイルス感染症の影響で、初めてのオンライン開催となりました。私たちゼミナール連合本部も不安なことだらけでしたが、先生方やゼミ生の協力により、無事に成功させることができました。ご協力ありがとうございました。来年度は、オンラインか対面型かはまだ未決定ですが、いずれにせよゼミナール発表会はゼミ生のために開催します。来年度の参加もお待ちしております。また、新2年生の役員も募集しているので、興味がある方はゼミ連HPからご連絡ください。

経営学部 教授 降旗 徹馬ゼミ

■担当科目
学部:経営工学A/B、応用表計算(関数)/(マクロ)、マルチメディアI/II、専門ゼミ
大学院:経営工学特殊研究、経営工学研究指導、経営工学特講A/B、経営工学演習

■略歴
1966年2月生。東京理科大学大学院工学研究科経営工学専攻修士課程修了、博士(工学)(東京工業大学)。東京理科大学経営学部助手などを経て現職。現在、経営関連学会協議会副理事長補佐、日本経営工学会国際渉外副委員長・論文誌編集委員長、日本経営数学会常任理事。2006年日本経営数学会学会賞。



CLOSE UP!!

高千穂ゼミ

大学教育の中心であるゼミナール教育。
伝統ある高千穂のゼミが、どのような研究や活動を行っているかを学部ごとに紹介します。

経営工学 ～データに基づいた問題発見・解決～

経営工学は企業活動の計画やマネジメントに工学的な方法・技法を適用し問題解決を図る実践的な学問です。日本学術会議の「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準「経営学分野」において、経営管理論、会計学、商学、経営情報学とともに5本柱の一つとして位置づけられています。経営学部においては必須の学問です。ゼミではデータに基づいた問題発見・解決に焦点を当てています。設定したテーマについて、毎週2コマの講義・演習を繰り返しています。取り上げたテーマは、産業別生産性、ジェンダーダイバーシティと企業業績、セイバーメトリクスから見る日本プロ野球、情報通信企業の研究開発効率性、自動車の価格対性能、コンビニ大手3社の立地戦略などのデータ分析です。昨年はインバウンド動向のグラビティモデル分析を学修しました。また、学外の活動も重視し、実践教育実習、文系専門ゼミ交流会、レポートコンテスト、学生小論文コンテスト、近未来社会学生コンテストなどに参加してまいりました。昨年はCONCOM2020(大学生コンサルティングコンペティション)に3年生有志が参加し、本選出場を果たしました。経営工学という文系の学生には敬遠されがちな分野ですが、よきゼミ生に恵まれてきたと考えております。ゼミ生は多くの有力企業に巣立っていきましました。興味を持った方はぜひご参加ください。

考える・伝える力を養う ～管理会計を題材に～

樹谷ゼミでは、考える力と伝える力の強化を目的とし、管理会計を題材とした研究を行っています。ゼミの場では、各グループによる研究の進捗報告と、ゼミ生や私からフィードバックにより、研究の精度と学生の能力を上げていきます。発表する機会や他のゼミ生・私から意見をもらう機会を増やすために、ゼミ生は1学年10名程度とされています。第1ゼミでは、就職活動で穴場な企業はどこか、いい業界はどこかというテーマについて、財務諸表やビジネスモデル、マネジメントの観点から研究しています。第2ゼミでは、前年に行っていたANAとJALの比較研究の深化(世界における立ち位置の分析)、ギルドと呼ばれる集団における会計やマネジメントの在り方について研究しています。ゼミを通じた学生の成長には目を見張るものがあります。受け身だった学生が、思考する楽しさに気づき、あれこれと自ら調べる、私の研究室に来て本を借りる、自ら意見を述べる、意見・感想を求めてくるといった行動を見せています。ゼミが発足して2年に満たないことから、皆で場を作っている感があり、主体性を発揮するなかで学生自身が変化を感じられるゼミかと思いません。研究やゼミは、専門知識の獲得のみならず、より普遍的な能力の構築に有益です。ゼミを自身の成長の機会と捉え、有意義な時間を過ごして欲しいと願っています。



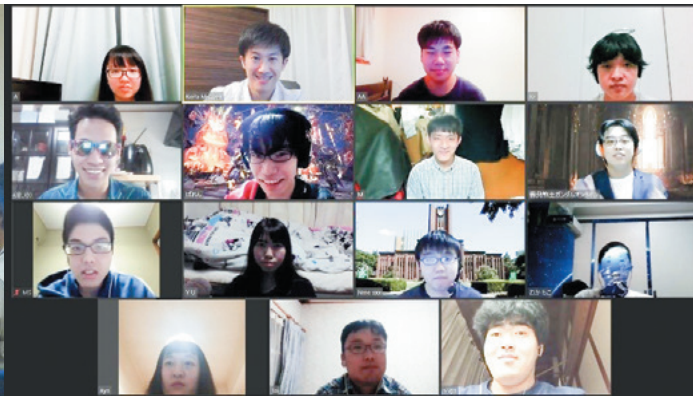
日本経営工学会文系専門ゼミ交流会「優秀賞」



ドコモコンテスト「ファイナリスト賞」



実践教育実習修了証



オンラインでのゼミの様子



2019年度のゼミ発表会の様子

STUDENT'S VOICE



伊佐 千尋
経営学部 企業経営コース 2年
新潟県立小千谷高校出身

先生はやさしく指導してくれる方で、私は怒ったところを見たことがないので、接しやすい先生だと思います。しかし、経営工学の話を変えるときがあるため、理解が大変な時があります。



西本 貴志
経営学部 企業経営コース 2年
東京都立六本木高校出身

私がこのゼミに入った理由は文系である経営学の中では数少ないデータや数式を使う経営工学に興味を持ったからです。実際に降旗先生のゼミではデータに基づいた分析などを行っています。



馬込 泰佑
経営学部 企業経営コース 3年
東京都立世田谷総合高校出身

このゼミでは経営工学に関する内容を理解することができます。週に2回ゼミがあるため自分のスキルアップを図ることができます。



森田 孝八太
経営学部 情報コース 3年
東京都立浅草高校出身

本年度はConCom2020での貴重な経験を通じ、実力と自信をつけることができました。このような経験や実力の向上を目的としたイベントは来年度も行われると思うので、積極的に参加していく予定です！



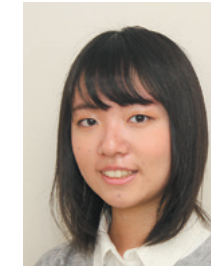
相澤 直哉
商学部 会計コース 3年
東京都私立自由ヶ丘学園高校出身
簿記会計研究会

若い先生のため学生との距離感が非常に近くなんでも気軽に聞けます。学生の能力を上げるため真剣に取り組んでくれる様子をよく見かけます。緩い時とのメリハリがとてもあるのも特徴です。



小川 雅央
商学部 会計コース 3年
千葉県立東京学館船橋高校出身

「管理会計」と聞くと、皆さんはどのような印象を抱くでしょうか?ほとんどの人は、どことなく堅苦しい印象を抱くと思います。しかし、樹谷ゼミではそんな管理会計をパワーポイントでのプレゼンを中心に和気藹々と研究しています。



加藤 あかり
商学部 会計コース 2年
福島県立福島南高校出身
美術部

将来に向けて、伝える力を鍛えたいと思いました。そこで、プレゼン発表の機会が多く、少人数で一人ひとりの能力を伸ばせる点が魅力的な樹谷ゼミに入りました。管理会計を学べる点も、樹谷ゼミを選んだポイントです。



依田 知龍
商学部 会計コース 2年
東京都立大江戸高校出身
和弓部

樹谷ゼミでは自ら調べた研究のプレゼンテーションを頻繁に行い、情報を上手くまとめる力、伝える力を向上させる活動をしています。前期はゼミ発表に向けた準備、後期は前期で学んだ事を生かした研究をしています。

就活情報局

SHUKATSU INFORMATION

2020年度学内選抜 インターンシップ報告会を終えて

今年度は新型コロナウイルス感染症のため10年継続してきた学内選抜インターンシッププログラムの実施が危ぶまれておりましたが、例年より規模は縮小したものの無事に最後の学生企画・運営による報告会まで開催することができました。

募集の説明会から応募書類の提出、面接選考、事前指導全てオンラインで対応し、8月～9月中旬まで11社、24名の学生を派遣致しました。実施にあたっては、受入企業様と例年以上に密に連絡を取り合い、常に情報を共有して準備を進めてまいりました。一部実習期間や実習内容が変更になった企業様もございましたが、コロナウイルスの感染予防を徹底し、学生を受入して下さったことにこの場を借りて御礼申し上げます。

実習では、学生たちは実際に企業に出向いて就業体験をさせていただき、仕事や業界に対する理解を深めると共に、企業側が先の見えないコロナウイルスの対応にどのように

取り組まれているのかもしっかりと学ぶことができたと思います。

実習の成果を発表する報告会も今年度はオンラインで実施しました。企業様を3グループに分け、グループごとに学生が進行・発表を行い、報告の後には企業の人事担当者様や本学教員からの講評や質問をお受けする形で進行了しました。報告会終了後には、企業の人事担当者様と実習生のみでの交流会も行い、学生たちはご参加いただいた全ての企業の方と交流を深めることができました。

今後の就職活動はこれまでとは違い、オンラインでの説明会や選考等も増えてくるものと思いますが、学生たちは実際に企業へ訪問に行き直接自分の目で見て、体感して得られる情報がいかに大切であるか、このインターンシップを通して学ぶことができたと思います。この経験を通じて学んだことを活かして、オンラインでも上手に活用しながら自分に向合う企業を見つけ、積極的に就職活動に取り組んでほしいと思います。



インターンシップ報告会の様子



インターンシップ実習中の様子

2020年度就職支援行事スケジュール

2月5日(金)	企業研究セミナー	本学と関わりの深い企業を中心に招聘し、企業との出会いの場を提供する
11:00 ~ 15:30		

※行事は今後変更になる可能性があります。

Congratulations!

資格取得体験談

高千穂大学は資格取得を応援しています。
資格取得のために課外講座を受講し合格した学生の体験談を紹介します。
みなさんも資格取得に挑戦しませんか？

2019年
7月試験
合格



川島 詞帆
経営学部 企業経営コース 3年
東京都立鷺宮高校出身
竹内慶司ゼミ、ダンス同好会

リテールマーケティング(販売士)2級取得

所属するゼミをきっかけに、リテールマーケティング2級を取得しました。流通や小売についての資格で、5つの試験科目ではマーケティングやマーチャンダイジングを学びます。コンビニやスーパー、デパートなど、日常で触れる機会が多い小売店について学ぶため、内容は興味深いものが多く、楽しく学習できました。

この資格を取得して、最もメリットに感じたことは、学校の講義の理解が深まる点です。私が履修した講義科目では、流通や小売について扱う機会が多く、検定で学習した内容がとても役立ちました。この資格取得をきっかけに、最近では他の検定にも取り組んでいます。

2019年
12月試験
合格



横山 太一
経営学部 企業経営コース 3年
埼玉県立草加南高校出身
竹内慶司ゼミ

マイクロソフトオフィススペシャリスト(Word+Excel)合格

資格取得を目指した理由は将来の働き方を想像し逆算したときに必要なスキルだと感じたからです。私は将来、働く上でWordやExcelといったPCスキルは必須になってくると思います。この資格を取得することで大学の授業などでは身につくことのできないスキルを学ぶことができ、自分のPCスキルの向上につながりました。講座内で試験対策はしっかりと行ってくれず、模擬試験は何度も受けられるので自信が付くまで繰り返し演習を行います。そのため試験当日は安心して試験を受けることができました。PCスキルに自信が無い方はもちろん、既に自信がある方も受講することをオススメします。

2020年
8月試験
学科合格



川島 早佑梨
人間科学部
社会・ライフデザインコース 4年
東京都立篠崎高校出身
木村ゼミ、ゼミナール連合本部、漫画研究会

保育士(神奈川県地域限定保育士学科合格)

昨年の保育士前期試験が中止となり初めて神奈川県地域限定保育士試験を受験することを決めました。全国の試験と比べると比較的易しい問題が多く、4月の前期の筆記試験から4ヶ月後の8月実施だった為、4ヶ月間の勉強の時間があるのも利点ではないかと思えます。また、合格科目の引継ぎもできるので保育士試験資格取得の近道にうってつけです！

2019年
11月試験
合格



羽豆 直人
商学部 金融コース 2年
国立東京学芸大学附属国際中等教育学校出身
楠美ゼミ、柔道同好会

日商簿記2級取得

私は簿記を学び始めて8ヶ月で簿記2級を取得しました。簿記というものを学んでいく中で最も気を付けたことは暗記をしないということです。簿記というものは定められたシステムの中で処理されるものであり、どのようなルールがあるのかを理解し実践すれば初見のものにも対応することができず。私の受けていた講座は映像で授業をみることで、授業のほとんどを映像で受けていました。映像授業は倍速再生で行い、聞き逃さないようにと普段より集中することができるとおススメです。本番は難しいものは諦め、確実に取れるものから点数を拾って合格点である70点を是非超えてください。

新会長の抱負



藤代 匠
経営学部 企業経営コース 3年
埼玉県立浦和商業高校出身
小林ゼミ、学友会本部
高千穂祭実行委員会

在学生の主体的な参加を通して、
大学全体を活性化させていきたい

私が目標としていることは、学生一人ひとりが大学の行事に主体的に参加をして、大学全体を活性化させることです。学友会が行っている行事は体育祭、六月祭、高千穂祭、ゼミナル発表会の4つがありますが、これらは在学生在が積極的に参加しているのではなく、所属団体が主体となつて参加しているため、それ以外の在学生の参加者数はいずれも横ばいとなっています。私は所属団体のみならず、在生が行事を通じて、寄り添っていくことで、更に大学全体を盛り上げていけるのではないかと考えています。そのため私は各団体との連携を強めていき、みんなが楽しいキャンパスライフを共有できるよう、そして一人ひとりが主体性を持ち、活発化する大学を目標としていきたいと思っています。

前会長挨拶



宗像 哉臣
商学部 マーケティングコース 4年
福島県私立日本大学東北高校出身
庄司ゼミ、学友会本部、体育会本部
バドミントン愛好会

今年度は、コロナ禍で従来通りの行事・運営に支障をきたし、新たな企画・運営方式に苦戦しましたが、皆様の支えがあり乗り越える事ができました。第25代学友会は、私たちが残した伝統を引き継ぎながら、オリジナリティ溢れる代にしてください。

我が教育を振り返る

TAKACHIHO history

1

一期一会
一生に一度だけの機会や出会いのこと

高千穂大学に奉職して37年の年月の流れ、今、第2の旅立ちの瞬間にいます。多くの学生や教職員との出会いと別れがあり、それを37年間繰り返してきた感があります。この長い間に出会った人とは二度と会うこともなく、日々を過ごして行くことになると思います。一場の舞台での役割を終えて、舞台から去っていく。

若い時に夢見たことは、只無常と空虚の繰り返しだったのかもしれないと今思っています。川は絶えず流れていくように、もう一度大学で出会った人達と会いたいと思っても無理でしょう。今でも定期的に会っている卒業生もいます。大学に来て2年目に突然10名位の学生が研究室に来て「ESS（英語研究会）を作ってください。」と代表の村山君が言い出しました。それが縁で、毎年桜の季節に、善福寺川の花の下で、家族も一緒に春の一時を過ごしています。もう1つのグループは、専門ゼミの卒業生です。ゼミ長の西原君（大専事務）を先頭に、定期的な飲み会をしています。個人的に連絡交流している、サイクリング部、ゴルフ部の卒業生、ゼミOBなどはLINEで時々連



商学部 教授
佐藤 孝一

英語科目を担当。近年は海外研修委員長として留学制度の整備に尽力され、大学の国際化に貢献されてきました。

第25代 学友会副会長・局長



書記局長 藤田 采
広報局長 玉城 航希
会計監査局長 KHATUN FARHEEN
会計局長 武田 実華
企画局長 宮内 七海
副会長 山田 真彦
副会長 高橋 侑香

第25代 学友会役員



会計局 鈴木 彩李
会計局 平 啓佑
企画局 美濃 和弥
企画局 岡本 虹花
企画局 三浦 隆也
企画局 芦立 元也
企画局 大島 進之介
会計局 渡辺 イズミ
会計局 松谷 桃花
会計局 三田 朔
会計局 伊藤 義規
会計局 川又 文哉
会計局 小宮 知樹
会計局 高橋 美実
会計監査局 馬場 裕也
会計監査局 金子 智哉
会計監査局 小山 海
会計監査局 鈴木 駿之介
会計監査局 細越 莉奈
会計監査局 井原 萌
会計監査局 田中天藍
書記局 佐藤 莉子
書記局 塩飽 和広
書記局 阿部 海斗
広報局 杉本 哲太
広報局 君島 柚衣

絡を取っています。
今年は退職記念会を西原君を中心に企画していましたが、このコロナ禍のなかでの実施は無理なようです。人生は「老少不定」で、朝日に蒸発する朝露の如しであります。これから第二の人生と言え、退職してから迎える正月は旅立ちまでの一里塚と言えるでしょう。今は20年位時間が戻れるならの心境です。

啐啄同時

雛が卵の内側からコツコツ合図すると、親鳥も外から殻を突いて雛の誕生を迎える。教育の醍醐味は、まさに学生と教員の啐啄の関係だと思っています。教員から一方的に話してもダメだし、学生からの応答が重要になります。昨今の学生は自分から発話するのが少なくなり、特に、他に学生がいると質問もしません。目に見えない殻が問題で、殻が固すぎてコツコツと来ません。母鳥の愛情が強すぎて殻を破れないのだからか。専門ゼミで東南アジアに行く、ゼミ生が現地での生活で痛感することは、コミュニケーションです。私も、東南アジアで感じたこと

は、英語でのコミュニケーションの重要性でした。英語が母国語でない国での英語でのコミュニケーションは大切であり、それは生活と直結しています。啐啄同時とは言えないが、私が英語教員として最後に嬉しかったのはゼミOBの桑原君です。フィリピンでの英語研修、オレゴン大学での中期留学、タイでのFair Tradeの情報収集、「トビタテ！留学JAPAN」での1年間のイギリス研修と行動的でした。英語力も当初のTOEIC350点からイギリス研修前には800点を超えていました。宮本武蔵の養子の伊織では例えが大袈裟であるが、桑原君はまさに私にとっての伊織でした。諸先生方には各々の専門分野での第二の第三の桑原君を見つけ、育てて頂きたいです。以上で惜別の辞とさせて頂きます。

佐藤孝一（慈雲）



我が教育を振り返る

TAKACHIHO
history

2

2010年4月に大学院非常勤講師をお受けしてから11年間

平成22年4月に大学院非常勤講師を引受けてから11年間、勤務させて頂いた。就任当時、本学で銀行論を教えていると話す、「渋沢栄一（第一国立銀行初代頭取）」と所縁のある大学で講義できてよかったですね」という言葉を幾度となく頂戴した。令和3年NHK大河ドラマ「青天を衝け」は渋沢栄一が主人公であるほか、令和6年には渋沢栄一が肖像画の新一万円札が発行される。終わってみれば、まさにそのとおりとなった。渋沢栄一自筆の中庭の石碑に感謝するばかりである。

大学では、評議員や理事も経験させていただいたが、個人的には「アジア研究交流センター所長」の経験が自らを大いに啓蒙した。それまでは、金融経済の予測というライフワークを遂行するうえで、中国経済への理解が十分であった。中国中央财经大学との交流で北京を3回訪問することができた。とくに、上海から北京の新幹線の旅は忘れられない思い出である。上海、蘇州、長江、南京、黄河、天津、北京の位置関係を認識できたほか、北京（昔は北平「ペイピン」と呼ばれていた）が実に広い平野であることも実

商学部
教授
高田 大安



留学生など個性豊かなゼミ生を父親のように、厳しいながらも温かく指導をされ、本学の評議員や理事としても活躍されました。

感できた。中央财经大学の先生方の中には日本への留学経験がある方が多く、白酒を痛飲して深夜まで語り合った。マルコポーロは北京のどこに住んでいたのか、盧溝橋（地図上では北京中心部から20キロ南西）に連れて行けなどと騒いで、先生方を大いに困らせた。また、調子に乗って、日中の製薬会社の業務提携にも着手してみた。筋はよかったが成就しなかった。

関心のある職業や会社、などの身近なテーマで一人でプレゼンする訓練を何度も繰り返し、就職試験の予行演習とした。皆でワイワイやるという楽しさには今一つ欠けたゼミではあったが、起業をする学生もいるなど、色々な個性が集まっていた。ゼミ生から2人の留学生代表が出たほか、3人の大学院進学者を輩出できたことは慶賀であった。

こうした経験は、中国人留学生が自分のゼミに集まる誘因ともなった。平成26年には中国人留学生だけでゼミを構成し、中国のシャドーバンキングを研究した。まさに学生との交流を通じて学んだ年であった。

この間、部活動やアルバイトで学業が疎かになるなどの形で退学者を出してしまったことは誠に残念である。夜半に親身に学生の話を聞きこむ同僚の先生の姿を垣間みると、己の師としての力不足を感じることがあった。

私のゼミは、私の講義を聴講して熱烈に希望した人は一握りで、何となく誘われて来た迷える羊たちの溜まり場であった。ゼミ発表会でのテーマ選びは難航した。妥協策として本学指針の一つである「常に半步先立つ進歩性」に従い、アペノミクス、米大統領選挙、米中貿易戦争、曲がり角のコンビニ、ドローン、AIなどの時代の最先端のテーマを追いかけて来た。このほか、自分の好きなもの、嫌いなもの、

両眼の高視力が私の自慢であったが、老眼や乱視が出て、インターネットも負担に感じるようになった。潮時である。最後に、高千穂大学の皆様のさらなる飛翔を祈念してご挨拶とした。

我が教育を振り返る

TAKACHIHO
history

3

教職課程を担当して23年

私が高千穂大学で教員生活を始めたのは、1998年4月です。当時の名称は高千穂商科大学でした。その名が示すように、商学を中核に据えた大学経営がなされていました。専攻が教育学だった関係で、私は当初から一貫して教職課程を担当。当時、人間科学部は誕生しておらず、履修者は商学部生だけでした。私が着任した頃は、毎年30〜40名が「商業」の教員免許を取得していたように記憶しています。その中には、教職を強く希望する者がいます。ある年、6〜7名のグループから、教員採用試験に合格したので手伝ってほしいと頼まれ、長期にわたって授業外の手伝いをしたことがありません。もともと勉強熱心ですので、そのグループから何人も合格者が出て、学生と一緒に喜びを味わいました。その学生たちから、卒業式直前に素敵なネクタイを贈られて、大人らしい心くばりに感激しました。そのネクタイは、卒業式など節目の時に擦り切れるまで使わせてもらいました。

人間科学部
教授
松丸 修三



“先生と近い”を実践したゼミ教育では、真摯にゼミ生一人ひとりと向き合う姿が印象的で、本学の副学長も務められました。

たくさんあります。私の専門ゼミはもとも規模が小さい方でしたが、それでも毎年新しい学生が入ってきます。ですから、ゼミ生との交流は刺激的で、変化に富んでいます。ほぼ全員が教職課程を履修していた関係で、毎年、「不登校」「学級崩壊」「モンスターペアレントにどう対応するか」といったテーマを設け、ゼミ生の興味・関心を生かした共同研究を行いました。特に思い出深いのは、2015年度です。当時、秋田県の小学生は、全国学力調査で連続して日本一の座に輝いていました。ゼミ生がそのことに着目し、原因を探る研究を始めました。秋田県に「おばあちゃん」がいるという女子が全体を牽引し、最後はみんなで研究の成果をとりまとめ、立派なゼミ発表を行ってくれました。和気あいあい、生き生きといたゼミ生の顔が、今も懐かしく思い出されます。

力」としての教育——福沢諭吉の教育思想、村井実の教育理論、宮城まり子の教育実践」として出版できたことは、とても幸せなことでした。その後、教育哲学会の機関誌「教育哲学研究」がその本を取り上げて、内容を紹介してくださったのですが、それもこれも、大学が出版を助成してくださったお蔭だと有り難く思っています。

出版原稿のチェック・修正をしていた頃は、まともに夕食をとることができなかった上に、仰せつかった学生委員長（続いて副学長）を真剣に務めていましたので、ついに健康が崩壊。退職願を懐にしてご相談に上がった時の理事長の温かいお言葉、「万一の時は休職してよろしいです」も、倦怠感に苦しむ体と心にしみました。

大学から補助金をいただいて、「助

在職した23年の間には、辛いことや嫌なことも少しはあったはずですが、今となっては、有り難かったことや楽しかったことが思い出されます。最後となりましたが、学生たちを含めて、学園にご関係の皆様にご心から感謝の辞を呈します。





INTRODUCTION OF CLUB ACTIVITIES
クラブ紹介

初心者の方大歓迎！ 共に上達していきましょう！

オフシーズンは、スキーに必要な足腰を鍛えたり、バランス感覚を養ったりしながら冬の大会に向けて体力をつけるトレーニングをしています。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、全員での活動ができていませんが、以前は合宿を定期的に行ったり、他大学のスキー部と球技大会、水上スキー、インラインスケート、サップ等を行っていました。他にも、体育祭や高千穂祭の出し物も出展しています。

部員のほとんどは初心者ですが、新しくチャレンジできることが多く刺激的です。皆さんの入部お待ちしています！経験者の方も大歓迎！！

スキー部

みんなで活動できることを目標に
各々トレーニング等頑張っています



主将
小波津 朋恵
人間科学部 社会・ライフデザインコース 2年
東京都立小岩高校出身
吉原ゼミ

CLUB DATA
顧問 木村 正人先生
所属人数 7人
活動日 春学期は毎週火曜日、秋学期は毎週火・木曜日 体育館にて
内容 普段はトレーニング(筋トレや球技など)をしています。
雰囲気 上下関係なく仲が良い

クラブ・サークル活動報告

硬式野球部

秋リーグ2部～4部校交流トーナメント大会
11/8(日)文京学院大学戦 勝ち○8-7
11/9(月)東京都立大学戦 負け●3-11

硬式庭球部

2020年度関東学生テニストーナメント大会
10/19(月)～10/21(水)
日野上 修太: 1回戦 勝ち○6-4 (千葉商科大学戦)
2回戦 負け●1-6 (東洋学園大学戦)
栗下 稜平: 1回戦 負け●4-6 (千葉大学戦)
阿部 恵太: 1回戦 負け●2-6 (成蹊大学戦)
嘉村 琉海: 1回戦 不戦勝○ (帝京大学戦)
2回戦 負け●0-6 (山梨学院大学戦)
南澤 和: 1回戦 不戦敗● (一橋大学戦)

アメリカンフットボール部

関東学生アメリカンフットボール連盟3部
混成Eブロックトーナメント1回戦
12/12(土)千葉商科大学戦 勝ち○33-14



My High School Presentation

高千穂大学には全国から学生が集まっています。
今の自分があるのも高校時代があるからこそ。
当時は振り返りながら、母校の良さを皆さんに紹介します。

東京都私立錦城学園高校

私の高校時代
2年生の体育祭ではクラスで創作ダンスを作成し競い合います。振り付けから音楽まですべてクラスで作成をし、さらに振り付けを全員で練習したので、体育祭当日まで大忙しでしたが、この期間でクラスの仲が深まった気がしました。3年次は、受験を控えていたため、みんなそれぞれ頑張っていました。高校が無料の課外授業を開いていたためそれを活用し、友達と切磋琢磨することができ、とても勉強に役立ちました。

母校の学生へのメッセージ

高千穂大学は小規模ですが、その分先生との距離も近く、専門ゼミが2年次から始まるため、効率良く学ぶことができます。

母校の先生へのメッセージ

進路指導の高橋先生、大学進学の時は大変お世話になりました。これからもお身体に気をつけて、元気でいてください。

私の思い出



東京の真ん中、ビルの中にあり、歩くたびに友達と会えるため、人との距離の近さを感じられる学校でした。



國松 倫也
商学部 会計コース 3年
西山ゼミ、簿記会計研究会

私の母校の特長 BEST3

- BEST 1 部活動の種類が多い
- BEST 2 受験時の課外授業が無料
- BEST 3 立地の良さ

東京都私立橘学苑高校

私の高校時代
高校生で初めての文化祭では、お化け屋敷をやることとなり、夏からクラスみんなで協力して作った甲斐もあって大盛況でした。2年次には修学旅行でシンガポールとマレーシアに行き、現地の方々と交流し、日本との違い等を深く勉強することができました。3年次では、所属していたテニス部の最後の大会で、チーム一丸となって優勝を目指しましたが、惜しくも2回戦敗退でした。そして、受験では先生との距離が近く、質疑がしやすい大学と言った話を聞き、自分に向いていると思い、高千穂大学を選びました。

母校の学生へのメッセージ

ゼミは先生との距離が近く、気軽に質問が出来るので、成長している実感がありません。部活の先輩は優しい方が多く、楽しく過ごしています。

母校の先生へのメッセージ

林先生に3年次に進路等、分からないことが多いなか、いろいろ教えていただきました。また、友寄先生の数学とても分かりやすかったです。

私の思い出



卒業式での一枚です。たくさんの方に恵まれ、楽しい高校生活を送ることができました！



竹内 陽
経営学部 企業経営コース 2年
松崎ゼミ、硬式庭球部

私の母校の特長 BEST3

- BEST 1 屋根付きテニスコートがある
- BEST 2 おいしいパン屋さん
- BEST 3 校舎が綺麗

ご意見・ご要望などを
募集します

高千穂大学・広報誌(Quarterly TAKACHIHO)をご覧くださいませ。誠にありがとうございます。広報誌では皆さんからご意見やご要望などを募集しております。お気軽にメールにてお知らせください。お待ちしております。

連絡先メールアドレス
koho@takachiho.ac.jp

高千穂大学
ソーシャルメディア
公式アカウント

大学の最新情報が分かる！
公式アカウントをフォローしよう！！

facebook



twitter



表紙の人



(写真左)
宗像 哉臣
高学部 マーケティングコース 4年
福島県私立日本大学東北高校出身
庄司ゼミ、学生会本部、体育会本部
バドミントン愛好会

(写真右)
藤井 舞
高学部 会計コース 3年
東京都立大島高校出身
成田ゼミ、体育会本部
アメリカンフットボール部

Quarterly
TAKACHIHO

[クォーターリー 高千穂]

Winter / 2021
Vol.80

●編集長 渡邊 均
●委員 坂田 利康
西原 正人

●編集・印刷 orange corporation

クォーターリー高千穂設置場所
図書館(1階)、3号館(1階)、4号館
(1・2階)、情報メディアセンター、
CS(1・2・3・4階)

TAKACHIHO INFORMATION

オープンキャンパスを開催(オンライン&来場型)

2020年10月17日(土)・18日(日)、11月3日(火・祝)、
12月6日(日)



オープンキャンパスは2種類を用意し、大学説明・学部説明、模擬授業、選抜制度紹介などの動画を配信するオンライン型と、各回入構者の上限を設けて、キャンパスツアーと個別相談に参加できる来場型を開催。来場型は各回満席となり、多くの受験生と保護者の方が参加されました。

就職インターンシップ報告会&交流会

2020年10月27日(火)



今年度の報告会・交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて実施しました。多くの企業人事担当の皆様にご参加いただき、今年度のインターンシップについて振り返りました。企業の皆様と学生とで交流を深めることもできました。(写真は昨年度の様子)

第55回オンライン高千穂祭

2020年11月8日(日)



テーマは、Color Bloom ~彩り~。今回は1年生が春学期来れなかった状況を鑑み、大学生生活の過ごし方や授業の受け方などのコンテンツを制作・配信するもの、そして当日ライブで動画の配信や、在学生の視聴者とクイズ大会を実施。総額20万円相当の景品を目指して盛り上がりました。

2020年度秋学期体育会総会&文連総会

2020年11月18日(水)



初めてのオンラインによる体育会総会ならびに学術文化団体連合会(以下文連)総会がそれぞれ開催され、資料提示方式による実施となりました。その中で体育会・文連各部の活動報告が行われ、新本部役員が承認されました。なお、2年生の本部役員は今年度末まで募集中です。(写真は昨年度の様子)

2020年度 東京都立学校
教員採用候補者選考(2021年度採用) 結果発表

2020年10月23日(金)



東京都の公立学校教員採用の結果発表が行われ、人間科学部児童教育専攻の菅原里帆さん(都立府中西出身)、森島鈴菜さん(都立東大和出身、写真左)、唐亀颯太さん(都立東大和出身、写真中)、後藤瑠音さん(私立豊島学院出身)、山田英夫さん(都立高島出身、写真右)が合格しました。

2020年度オンラインゼミナール発表会

2020年11月2日(月)~6日(金)



今年度は113班が出場したゼミナール発表会。今回は初めてオンラインで行われ、学生は事前に動画を録画し、それを配信する形式で行われました。プレゼンコンテストの最優秀賞は、人間科学部の岡田第一ゼミの第1班、優秀賞は経営学部の小林第一ゼミの第4班でした。

2020年度秋学期学友会総会

2020年11月11日(水)



Google Classroomでのオンライン開催となり、春学期決算および秋学期予算が承認され、また学友会本部新役員も承認されました。学友会各クラブに興味のある学生は、『学友会からのお知らせ(クラスコード:xpmbpxx)』からクラブ紹介動画や連絡先にアクセスしてみてください。(写真は昨年度の様子)

2020年度オンライン・経営学部
起業・事業承継コースの卒業研究報告会

2020年12月12日(土)



卒業研究報告の結果は、第1位小林築さん(大島ゼミ)「浅草九重の挑戦」、第2位深澤永遠さん(藤木ゼミ、私立東海大学菅生出身)「スマートシティとバス事業」、第3位谷川由希也さん(大島ゼミ、都立深沢出身)「日本と世界の産業構造の違い」となりました。(写真は昨年度の様子)

/ 卒業生 /

[GRADUATE]

INTERVIEW

OB Okamoto Mitsuo

さまざまな分野で活躍する先輩達を紹介します!



岡本 光生

1983年3月 高学部 卒業 藤井ゼミ

株式会社西太 代表取締役

青果業社長のかたわら、テレビ東京の水曜日18:30の番組「ソレダメ~あなたの常識は非常識」で、野菜の目利きと美味しい食べ方を紹介している。

大学って将来役立つのかな?

「大学に入れ」って親に言われ、なんとなくそんな風潮に流されて大学に入学。将来の事なんて口には出してみるものの真剣に考えたことがなかった。父が小さな青果仲間をやっていたこともあって、単純

に「後を継げばいい」と思っていました。ところが、そんな生ぬるい考えに、「喝!」を入れてくれた熱血先生。それが現理事長藤井先生との出会い。「無試験でいいからオレのゼミに来て。」
その出会いが社会人になり事業継承を成し遂げるのに役立つ運命的な出会いになるうとは、当時の私には考えもつきませんでした。
近年学生でありながら起業する人も多く見受けられる。「金の亡者になっっていないだろうか」「ビジネススタンスだけの人間関係になっていないだろうか」など人としての生き方の心配をしています。最近いろいろな天災等で「絆」という言葉が使われてきていますが「絆は、糸が半分と書きます。いいことも悪い事も半分ずつ分け合ってつながら」ってことと教えてくれた先輩がいました。自分の都合だけでは「絆」はできないということ。喜怒哀楽をともに半分ずつ味わう、そういった人間味のある出会いを忘れてはいけないと思っております。
最後に、修業のため卒業式に出られなかった私は、25年後に先生より卒業証書をいただきました。泣きました。「人間味とは」を改めて藤井先生に教えられました。精神の勉強も学べたことに感謝。

高千穂大学 父母の会20周年

高千穂大学父母の会は、高千穂学園創立100周年記念事業の一環として、1999年に在学生の父母が中心となり設立準備委員会を設けました。一年間の準備期間の後、2000年4月に設立総会が開かれ父母の会が正式に発足し、昨年20周年を迎えました。全国16支部に分かれて活動しています。主な活動内容は「父母懇談会の開催」「家庭との連絡の強化」「奨学金助成」「教育施設や設備の充実に対する協力」「学生の学術・文化・体育活動に対する協力」等です。

つないだ絆で20年 「高千穂の輪」永遠に



父母の会
会長
大澤 美貴

この度、高千穂大学父母の会は創立20周年を迎えることができました。父母の会のあゆみをたどりますと、平成11年に高千穂学園創立100周年記念事業の一環として、父母の会設立が計画され、翌年の平成12年に7支部の下で発足しました。現在は全国16支部で構成され、各支部の支部長を中心に活動を行っております。

しかしながら今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子どもたちの学生生活は一変しました。授業形態は、今まで経験のしたことのない遠隔授業を余儀なくされ、一日も学校へ行けことができず、春学期を終了しました。秋学期は、一部対面授業が行われておりますが、原則は遠隔授業で行うことになっており、今後の状況を見ながら授業の実施方法を探っていく状況です。

このような状況により、4月以降の父母の会の行事や活動は、残念ながら中止となってしまいました。例年ですと9月に開催しております父母懇談会は、11月にメッセージ動画によるWEB配信となり、オンラインという新たな形での開催となりました。

記念すべき父母の会創立20周年は、今後語り継がれる記憶に残る年であり、コロナウィルスとの共存の生活は、これからも継続していくことと予想されます。一日でも早く新型コロナウイルス感染症が終息し、活気あふれる子どもたちの明るい声が響きわたる高千穂のキャンパスが戻りますよう、心から願っております。

これまでにご尽力いただいた会長・副会長・支部長をはじめとする支部役員、ご参加いただいた会員の皆さま並びに大学関係者の皆さまに感謝すると共に、今後とも父母の会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。



父母の会の歩み

1999年	学園創立100周年記念事業の一環として、設立準備委員会が発足され、名称・目的・会則支部規定・運用上の確認事項等協議される
2000年	父母の会設立総会において「高千穂商科大学父母の会」が正式に発足する 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、山梨県、静岡県、新潟県の7支部が発足 父母懇談会を開催（以後毎年開催）
2001年	大学名称変更に伴い「高千穂大学父母の会」に名称変更 群馬県、栃木県、茨城県、福島県、北海道・東北ブロックの5支部が発足 計12支部となる
2002年	北陸ブロック、近畿ブロック、中部ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロックの6支部が発足 計18支部となる
2004年	「大学見学会」開催（以後毎年開催 現「新入生保護者オリエンテーション」）
2005年	「郷土企画」開催（以後毎年開催）
2009年	父母の会設立10周年を迎える 記念行事を開催
2011年	近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロックを統合し、近畿・中国・四国ブロック支部が発足 計16支部となる
2015年	3年生保護者対象「就職ガイダンス」を開催
2017年	2年生保護者対象「就職ガイダンス」、4年生保護者対象「就職ガイダンス」を開催（以後毎年開催）
2019年	父母の会設立20周年を迎える

祝 「高千穂大学父母の会 設立20周年」



理事長
藤井 耐

創立者川田鐵彌先生が「子弟一体」による「家族主義的教育」を目指し、明治36（1903）年、高千穂小学校を設立されて以来、本年令和3（2021）年をもって創立118周年を迎えることとなります。我が国の私学としても最も伝統歴史を有する教育機関の一つでございます。ところで、現在の父母の会は、平成11（1999）年、川田哲学である「家族主義的教育」をさらに発展させることを目的に当時の御父母の代表の方々により準備作業が進められ、翌平成12（2000）年に発足しました。私自身、平成13（2001）年に学長を拝命し、さらに、平成19（2007）年理事長に就任して以来、今まで20年間、父母の会役員の皆様方そして、全父母の会会員の皆様方と共に「家族主義的教育共同体」としての川田哲学を継承すべく歩ませて頂いて参りました。学園理事會、教員の方々、事務職員の方々、同窓会そして父母の会による「五位一体」としての学生支援システムが構築された感激感謝の思いは本学卒業生一人であるという意味からも忘れることのない歳月でございます。

この父母の会の20年の歩みと共に大学も川田哲学に倣い「半歩・半歩」の歩みを続けて参りました。平成13（2001）年には、経営学部を新設し、校名も高千穂商科大学から高千穂大学に変更されました。平成15（2003）年学園創立100周年を迎えることができ、「セントラル・スクエア」を100周年記念館として建設し、学生の方々の「憩いの場」として活用頂いております。平成19（2007）年には、川田哲学の根幹を成す「人格教育」を実現すべく人間科学部を本学第三の学部として新設致しました。さらに、平成25（2013）年には主要講義棟である「新三号館」を、平成27（2015）年には「新体育館」を建設し、学生の方々の安全及び教育環境の充実を図るべく作業を進めて参りました。これ等の学部増設・新校舎建設は、学園創立118年間において、本学に入学・在籍され、そして、卒業された全ての校友及び御父母の皆様の学園に対する御理解と御協力により実現されたものでございます。これからも、本学に御入学・在籍されております全ての学生の方々が、さらに知的・人格的素養を醸成され、個人として、又、社会人として成長されますよう「五位一体」の学生支援システムを機能させて参りたいと存じます。父母の会設立20周年にあたり心よりの感謝と今後変わることはない御支援を賜りますようお願い申し上げます。

父母の会創立 20周年に寄せて



学長
寺内 一

高千穂大学父母の会の創立20周年おめでとうございます。父母の会の皆様には本学の教育をご理解いただき、20年にわたりご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

本学の創設者の川田先生は、設立当時から多くの賛同者を得て、本学園を作り上げられましたが、最大の後援者のひとりである波澤栄一先生からの教えを以下のように語っています。「私（川田先生）は、永い年月の間、竜門社の一人として、波澤（青淵）先生の御教訓を辱ういたしました関係上、先生の主義方針を継承し、論語に基づき、君には忠義、親には孝行、兄弟仲よく、人には親切、自分には誠といふことを、高千穂学校の標語といたし、…」（大正11（1922）年11月11日）とされているように、今から約100年以上前から、すでに、高千穂の教育の中に「父母（親）」がその重要な要素として組み入れられていたのです。

それが、創立10周年記念に寄せられた藤井理事長のお言葉にあるように、まさしく高千穂学園の柱となる「家族主義的教育共同体」の重要なパートナーとして、2000年に創立されたのが父母の会なのです。綿々と連なる高千穂の120年の歴史の中で、父母の会が果たしてきた役割はとても大きく、本学の教育に欠かせぬものとなっております。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、4月から対面式の授業が実施できず、遠隔授業を行わざるを得ないことになり、学生の皆様には大変なご不便をおかけしております。御父母の皆様にも多大なご心配をおかけしてしまい、本当に申し訳ございません。今後も、お預かりしたご息息ご令嬢の安全を第一に考え、ベストを尽くして、より一層の教育の充実に努めてまいり所存でございますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

高千穂大学父母の会が益々発展され、会員の皆様のご健勝をお祈りするとともに、特に、今回は新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息することを心から願ひ、お祝ひの御挨拶とさせていただきます。

父母の会 20周年のお祝い



高千穂学園同窓会
会長
千葉 吉明

高千穂大学父母の会が設立20周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

父母の会は平成12（2000）年の記念すべき年に設立され、来られました。それは、平成13（2001）年の高千穂商科大学から高千穂大学への名称変更、平成15（2003）年の学園創立100周年記念の帝国ホテルでの式典、平成19（2007）年の人間科学部設置等です。

父母の会は当初7支部から活動を開始され、現在は16ブロックの支部組織に拡充されております。父母の会をこれまで育て上げてこられた歴代の会長を初め役員の皆様のご努力に対して、深く敬意と感謝を申し上げます。

学校法人高千穂学園は「家族主義的教育」のもとに、学風の指針「常に半歩先立つ進歩性」、学風目標「偏らない自由人」「気概ある常識人」「平和的国際人」を建学の精神、教育理念としております。この教育理念を有する学生を育成することが私たちの願ひです。

高千穂学園同窓会本部の活動は、5月に総会・懇親会、10月にビジネス交流会、年度幹事会、12月に評議員会・忘年懇親会のほか、在学生に対しては、体育祭の支援、高千穂祭の支援、留学生への支援と、卒業生への記念品贈呈及び新会員歓迎会開催等を実施しております。（大学在学中に同窓会予納金を納入されて、卒業すると同窓会会員となります）

高千穂学園同窓会は全国に30支部があり、それぞれが卒業生相互の交流と親睦を深める活動をしています。父母の会との交流は、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県等が父母の会役員を総会にご招待して情報交換等を行っています。

今後とも父母の会との連携を更に深めて、大学支援に協力してまいります。

最後に父母の会をますますのご発展を祈念して、お祝ひの言葉といたします。

父母の会からのお知らせ

開催報告

オンライン父母懇談会開催

日時▶2020年10月2日(金)～
10月18日(日)

今年度の父母懇談会は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンラインにて開催しました。期間中「授業・履修・就職」に関する動画を配信し、メールにて個別相談を受け付けました。アンケートでは「子供が大学に行けず不安でしたが、動画を見て大学の支援体制がわかりよかったです」「動画を見て子供に前向きに進んでいけるよう声をかけていこうと思いました」「都合の良い時間に自宅で見ることができて良かったです」などの感想を保護者の方よりいただきました。

開催予定

2・3年生保護者対象 就職ガイダンス

父母の会では毎年3月に2年生保護者向け就職ガイダンスを実施しております。これは3年生になり、すぐにインターンシップ活動が始まることへの準備をしていただくことを主な目的としております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、インターンシップ、就職活動が大きな影響を受けており、2年生保護者向け就職ガイダンスに加え、3年生保護者向け就職ガイダンスも実施できるよう就職支援課・就職委員会と検討しております。

詳細につきましては決まり次第お知らせいたします。

日程	曜	開催支部	開催都市	開催会場
8月28日	土	新潟県 東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県 山梨県 群馬県	新潟市	東映ホテル
9月5日	日	茨城県 福島県 北陸ブロック 中部ブロック 近畿・中国・四国ブロック 九州ブロック	杉並区	高千穂大学
9月11日	土	静岡県	静岡市	静岡グランドホテル中島屋
9月11日	土	栃木県	宇都宮市	ホテルニューイタヤ

※新型コロナウイルス感染症への対応等で日程や開催方法が変更となる場合があります。

2021年度

父母懇談会開催スケジュール

父母の会が最も力を入れる「父母懇談会」。理事長・学長をはじめとする大学の教職員や同郷の保護者と語り合い、普段は遠い存在の「子どもの学園生活」が身近になる。それが「父母懇談会」の魅力！是非、ご参加下さい。



父母の会役員募集

父母の会では一緒に活動をしてくださる役員を募集しています。興味がある、詳しい説明を聞いてみたい、その他お問い合わせなどございましたら、高千穂大学父母の会事務局までご連絡ください。

黎明51号3ページの郷土企画の記載内容に誤りがございます。
ここに訂正し、お詫び申し上げます。
⑩ 福島県支部
⑪ 群馬県支部

歴代会長・支部長の紹介

父母の会へご尽力いただいた会長と支部長の紹介をいたします

年度	支部名	氏名	年度	支部名	氏名	年度	支部名	氏名
2010年度	第11代会長	松坂 宏造	2014年度	第15代会長	大石 進一	2018年度	第19代会長	中村 泰朗
	北海道・東北ブロック	松坂 宏造		北海道・東北ブロック	針金 勝幸		北海道・東北ブロック	木谷 宣子
	新潟県	渡辺 操		新潟県	本間 正博		新潟県	大久保 和政
	北陸ブロック	高山 恒夫		北陸ブロック	宮崎 嘉子		北陸ブロック	佐土 真由美
	福島県	駒木根 弘		福島県	平野 茂幸		福島県	千葉 美保
	茨城県	兼松 晴美		茨城県	大内 正利		栃木県	鈴木 雄司
	栃木県	田野井 康弘		栃木県	戸田 陽一		群馬県	神戸 晴代
	群馬県	亀井 初美		群馬県	堂田 浩美		埼玉県	藤井 達也
	埼玉県	長谷川 聡		埼玉県	磯部 実		千葉県	中村 泰朗
	千葉県	出来 真		千葉県	小高 英二		東京都	伊澤 和仁
	東京都	村田 興一		東京都	大石 進一		神奈川県	嘉藤 京美
神奈川県	橋本 明典	神奈川県	小林 昌子	山梨県	中村 安希子			
山梨県	渡辺 正子	山梨県	勝俣 清秋	静岡県	青木 美智子			
静岡県	藤松 道子	静岡県	本田 雄三	中部ブロック	古谷 昭夫			
九州ブロック	川満 和彦	中部ブロック	加藤 真弓	近畿・中国・四国ブロック	横河 秀記			
近畿・中国・四国ブロック	岸本 淳子	近畿・中国・四国ブロック	平下 泰司	九州ブロック	中島 正一			
四国ブロック	野村 和可	九州ブロック	小川 智美					
中国ブロック	長岡 克典							
2011年度	第12代会長	松坂 宏造	2015年度	第16代会長	磯部 実	2019年度	第20代会長	中島 正一
	北海道・東北ブロック	大泉 修		北海道・東北ブロック	針金 勝幸		北海道・東北ブロック	藤原 英子
	新潟県	渡辺 操		新潟県	本間 正博		新潟県	田邊 潤治
	北陸ブロック	金城 京美		北陸ブロック	宮崎 嘉子		北陸ブロック	織田 美紀
	福島県	齋藤 敏則		福島県	加藤 雄大		福島県	千葉 美保
	茨城県	平光 郁夫		茨城県	君塚 和夫		栃木県	佐橋 智美
	栃木県	小野口 利之		栃木県	池田 光浩		群馬県	飯塚 孝夫
	群馬県	多賀谷 郁子		群馬県	善如寺 いつみ		埼玉県	藤井 達也
	埼玉県	越川 佳子		埼玉県	磯部 実		千葉県	中山 和彦
	千葉県	葦 智恵子		千葉県	越川 哲哉		東京都	加藤 孝一
	東京都	神崎 敬三		東京都	山手 英幸		神奈川県	佐藤 しのぶ
神奈川県	橋本 明典	神奈川県	細川 一美	山梨県	大澤 美貴			
山梨県	中島 真史	山梨県	勝俣 清秋	静岡県	青木 美智子			
静岡県	吉村 清美	静岡県	遠藤 浩美	中部ブロック	田中 美幸			
近畿・中国・四国ブロック	米田 恵美子	中部ブロック	加藤 真弓	近畿・中国・四国ブロック	横河 秀記			
九州ブロック	飯野 直子	近畿・中国・四国ブロック	平下 泰司	九州ブロック	中島 正一			
		九州ブロック	小川 智美					
2012年度	第13代会長	米田 恵美子	2016年度	第17代会長	磯部 実	2020年度	第21代会長	大澤 美貴
	北海道・東北ブロック	大泉 修		北海道・東北ブロック	相澤 淳子		北海道・東北ブロック	川名 三紀子
	新潟県	前田 新一		新潟県	真嶋 真理子		新潟県	上原 誠
	北陸ブロック	中島 美由紀		北陸ブロック	高橋 節生		北陸ブロック	織田 美紀
	福島県	宗像 住孝		福島県	齋藤 ゆきい		福島県	根本 秀子
	茨城県	平光 郁夫		茨城県	風見 典昭		栃木県	鈴木 雄司
	栃木県	岡部 美幸		栃木県	富田 百代		群馬県	新三千男
	群馬県	加藤 明美		群馬県	善如寺 いつみ		埼玉県	大矢 明宏
	埼玉県	越川 佳子		埼玉県	磯部 実		千葉県	白石 由紀美
	千葉県	葦 智恵子		千葉県	越川 哲哉		東京都	相川 雅樹
	東京都	神崎 敬三		東京都	尾崎 浩之		神奈川県	相内 ゆかり
神奈川県	木藤 博美	神奈川県	河合 秀治	山梨県	大澤 美貴			
山梨県	中島 真史	山梨県	飯田 美和	静岡県	青木 美智子			
静岡県	下山 恭利	静岡県	深澤 信人	中部ブロック	田中 美幸			
中部ブロック	加藤 真弓	中部ブロック	鈴木 琴代	近畿・中国・四国ブロック	横河 秀記			
近畿・中国・四国ブロック	野畑 洋子	近畿・中国・四国ブロック	杉本 明枝	九州ブロック	當眞 嗣章			
九州ブロック	前大井 良彦	九州ブロック	小川 智美					
2013年度	第14代会長	大泉 修	2017年度	第18代会長	磯部 実	父母の会 第1～第10代歴代会長		
	北海道・東北ブロック	大泉 修		北海道・東北ブロック	木谷 宣子	2000年度	第1代会長	長田 正富
	新潟県	前田 新一		新潟県	竹内 俊一	2001年度	第2代会長	長田 正富
	北陸ブロック	中村 幸一		北陸ブロック	佐土 真由美	2002年度	第3代会長	長田 正富
	福島県	宗像 住孝		福島県	大河原 一修	2003年度	第4代会長	木村 勝三
	茨城県	白土 里美		茨城県	渡邊 保	2004年度	第5代会長	中村 満里子
	栃木県	保坂 智子		栃木県	富田 百代	2005年度	第6代会長	秋山 利政
	群馬県	加藤 明美		群馬県	神戸 晴代	2006年度	第7代会長	坂本 順一
	埼玉県	越川 佳子		埼玉県	磯部 実	2007年度	第8代会長	片田 秀司
	千葉県	小高 英二		千葉県	中村 泰朗	2008年度	第9代会長	二ノ宮 正己
	東京都	大石 進一		東京都	尾崎 浩之	2009年度	第10代会長	西川 一郎
神奈川県	福地 真理子	神奈川県	河合 秀治					
山梨県	萱沼 一男	山梨県	渡邊 正					
静岡県	荻野 清乃	静岡県	深澤 信人					
中部ブロック	加藤 真弓	中部ブロック	古谷 昭夫					
近畿・中国・四国ブロック	平下 泰司	近畿・中国・四国ブロック	中島 正一					
九州ブロック	前大井 良彦	九州ブロック						

父母の会に関する
お問合せは、
こちらまで
お願いします。

高千穂大学 父母の会・事務局

〒168-8508 東京都杉並区大宮2丁目19番1号

TEL 03-3313-0432 FAX 03-3313-0432 E-mail fubokai@takachiho.ac.jp